

令和8年1月12日 ~ 令和8年1月18日

◆◆定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◆◆ (定点当たり患者数)

定 点	疾 病 名	週別 発生状況						国・県・県南 発生状況						基準値		
		県南保健所						第 3 週						警報レベル		注 意 報 レ ベル
		1 週		2 週		3 週		全国		長崎県		県南保健所		開始	終息	
インフルエンザ定点		43.60	警報	29.80	警報	30.60	警報	11.33	警報	18.53	警報	30.60	警報	30	10	10
COVID-19		1.00		2.00		0.80		1.54		0.73		0.80				
急性呼吸器感染症 (ARI)		66.20		64.20		49.60		48.91		60.76		49.60				
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	0.00		0.00		0.00		0.62		0.65		0.00				
	咽頭結膜熱	1.00		0.67		0.00		0.22		0.61		0.00		3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33		4.00		2.33		2.22		1.48		2.33		8	4	
	感染性胃腸炎	0.00		0.00		0.67		6.68		4.74		0.67		20	12	
	水痘	0.00		0.00		0.00		0.31		0.10		0.00		2	1	1
	手足口病	0.00		0.00		0.00		0.04		0.23		0.00		5	2	
	伝染性紅斑（リンゴ病）	0.33		0.67		0.67		0.26		0.58		0.67		2	1	
	突発性発しん	0.00		0.00		0.00		0.24		0.19		0.00				
	ヘルパンギーナ	0.00		0.00		0.00		0.02		0.00		0.00		6	2	
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	0.00		0.00		0.00		0.02		0.00		0.00		6	2	3	
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎	0.00		0.00		1.00	警報	0.02		0.13		1.00	警報	1	0.1	
	流行性角結膜炎	0.00		3.00		7.00		0.44		1.75		7.00		8	4	
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				
	無菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.02		0.00		0.00				
	マイコプラズマ肺炎	0.00		1.00		0.00		0.51		0.50		0.00				
	クラミジア肺炎 （オウム病は除く）	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				
	感染性胃腸炎 （ロタウイルスであるものに限る）	0.00		0.00		0.00		0.04		0.00		0.00				

◆◆全数把握対象感染症 発生状況◆◆ ※報告日掲載（県作成速報：診断日掲載）

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	報告なし

◆◆トピックス・季節情報◆◆

☆インフルエンザが流行しています。

第3週の管内の定点当たり報告数は30.6で、警報レベル終息基準値「10」を上回っており、警報レベルの報告数が続いています。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。

1日から3日間の潜伏期間のあとに38度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて咳、鼻汁などが起こり、約1週間で軽快するのが典型的な症状です。今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。

☆急性呼吸器感染症（ARI）に注意しましょう

急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection:ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎）または下気道炎（気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症などが含まれます。法律の改正により、令和7年4月7日からARIが5類感染症に位置づけられ、県内では51医療機関（ARI定点）から、1週間（月～日曜）にARIと診断された患者数が週に1回報告されています。

ARIに含まれるインフルエンザなどの感染症は、冬期に患者数が増加する傾向にあります。予防には、手洗いやマスク着用を含む咳エチケットなどの基本的な感染対策が有効です。ARIの中には、高齢の方や基礎疾患をお持ちの方が感染すると重症化するものもありますので、場面に応じた対策を心がけましょう。